

万引は3回目。初めて見つかった。休日などにはA夫の家に集まり、皆で酒やタバコを飲む」

学年会議で協議し、資料を整えて問題の核心をとらえ、組織的・計画的に指導にあたることにした。

4. 資料

(1) 本人

- 出生 正常分娩，熟産
- 身体の発達と特徴

身体の発達については特に問題がなかった。背が高くがっしりしている。運動能力にも秀れているが、顔色はよくない。

- 知能 教研式知能検査 SS 53
- 学習成績 (中1は1学期の成績)

	国	社	数	理	音	美	技	家	保	英
小6	2	2	2	2	3	3	3	3		
中1	1	1	2	1	2	3	2	2	1	

- 学習態度 (小学校は指導要録から抜すい)
 - ・小1 理解力はあるが、落ち着きがない。学習用具を忘れる。
 - ・小2 気分の変化が大で、落ち着きがない。
 - ・小3 顔色が悪く、学習中生あくびが多い。睡眠不足で授業中居眠りもする。
 - ・小4 意見が通らなるとすぐけんか腰になる。注意を受けるとブツブツ言う。
 - ・小5 睡眠不足は未だ直らず、あくび、反応の遅さとなり、本人の意欲を低くしている。
 - ・小6 困難にぶつかると必ずといってよい程避ける傾向がある。注意すると反発する。
 - ・中1 忘れ物が多い。授業中ぼんやりしている。
- 行動・性格の特徴

言級や学校のきまりを無視することが多い。言葉は粗野である。しかも衝動的で短慮である。

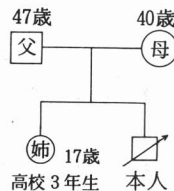
仲間と一緒にいないと心細そうで陰うつな表情をしている。また、いつも不安感にとらわれ、だれかに話しかけないでいられないところがある。

● 習癖など

小学校入学前まで、指しゃぶり、タオルしゃぶり、現在のはつめかみをしている。

(2) 家族

● 家族構成と家族成員の特徴



・父 2軒の Snackbar を経営し、昼ころから深夜までほとんど休日もなく働いている。子供の養育に関心が薄い。A夫が何かまずいことをすると、気絶する程殴る。

- ・母 夫とともに Snackbar で働く。派手好みで、商売に熱心である。子供の行動には関心を持つことが少なく、愛情の表現に乏しい。
- ・姉 愛くるしい顔をしているが、言動は粗暴である。男友だちを含め大勢の仲間を家に連れてくる。自動二輪車を乗り回している。A夫のめんどうを見ることは少ない。
- ・本人 誕生後、物心がつくまで、Snackbar の中で育った。幼少時からおもちゃ屋から高価なおもちゃを自由に持ち出して来たり、菓子店の菓子類を自由に食べてもよいようにされていた。代金は、後から母親がまとめて支払っていた。欲しいものはほとんど手に入っていた。

さびしがり屋で、夜具の中でよく泣いていた。保育所に入所後は、帰宅後就寝まで姉と二人だけの生活を送ってきた。

● 家庭の雰囲気

経済的に恵まれているが、家族成員の心理的な結びつきは非常に弱い。また、家族揃っての食事の機会がなく、食事の内容も偏っている。

両親不在のため、家は姉の友人等やA夫の仲間のたまり場になっている。

5. 診断

両親の不適切な養育による耐性と意欲に欠ける自己中心的な性格像に加えて、小学校生活に十分